

平成19年度 二宮町協働まちづくり補助金

～事業報告会～

協働まちづくり補助金の事業報告会が5月25日（日）二宮町社会福祉センターで開催されました。19年度に補助金を受けた団体はスタート支援1団体、ステップアップ支援13団体、総計で14団体が、交付された補助金をどのような事業に活用したかについて報告がありました。

模造紙だけではなく、パソコンを使ってのパワーポイントなど、視覚的にも分かりやすく報告した団体もありました。



団体の発表ごとに、審査員である町民活動推進委員より質疑があり、補助事業の運営や収支のやりくり、今後の展開等の質問やアドバイスを頂きました。

また、数団体まとめて審査委員長より講評がありましたので、その時のコメント概要を下記のとおりまとめました。

【スタート支援講評】

このような活動はいかに継続をさせるかという事が非常に重要でありまして、特にスタート支援団体の場合はこれからも長く続いていって欲しいと思います。

子どもが自然と触れ合うといったような類の活動をしている団体は、今後どうしたら継続していくか、という情報を入手していくことが重要と思われます。子どもたちが成長して、事業を行なう必要が無くなってしまうと、大人たちも退いていってしまう。ここでの次の代へのバトンタッチを上手くやっていくのが課題であります。是非、頑張ってほしいと思います。

【ステップアップ支援講評】

補助申請の団体を大きく分類すると、少子化・高齢化・環境・情報化・国際化に係わる形となり、それぞれの方が関心をもっている分野で活動されています。



発表を伺っても、いずれの団体も地域にとって有意義な活動をしているという事がよく分かる内容でした。みなさんの活動が地域のためとなり、活性化にもつながると思いますが、残念ながら会員数や予算の面で脆弱なところがあります。例えば、補助金や会費だけが活動の主な財源となると、補助金カットになった場合に、活動の今後がどうなるか分かりません。そのとき、どうしたら活動がうまく展開できるか知恵が必要になります。また若い方へ継承していく努力など克服していくことが、大きな課題になると思います。

福祉関係の活動発表でも、生活支援のボランティア活動がありました。確かに無料で行なうことこしたことではないが、どこかでメリハリをつけ、かかる費用を何らかの形で収入に充てたり、町から少し外に出て行く形をとれば、寄付金や協賛金取得などの戦略が考えられ、安定した収入を得ることができ、会の活性化につながると思います。

いずれにしても地域に深く根ざし、「　　をしていられる団体さんですね」と評価を得て、活動の幅を広げていっていただきたいと思います。



二宮町協働まちづくり補助金に関するお問い合わせ

二宮町 地域推進課 協働まちづくり推進係

T E L 0 4 6 3 - 7 1 - 3 3 1 1

F A X 0 4 6 3 - 7 3 - 0 1 3 4